

就任のご挨拶



笛吹中央病院 消化器外科 医長 石井 正紀

この度、平成 22 年 4 月 1 日から笛吹中央病院に勤務することになりました。
私は平成 5 年に東海大医学部を卒業、臨床経験年数は 18 年目となります。
実家が甲府市内で長男であるため、数年まえから帰郷を考えておりました。先代の主任教授が退官されたのをきっかけに当院への勤務となった次第です。

専門分野は胃、大腸などの消化器全般ですが、大学では特に肝、胆道、膵疾患を中心に研鑽をつんでまいりました。同時に、内視鏡外科においては腹腔鏡下手術が肝胆膵疾患の胆嚢から始まったことから比較的初期(1995)から手術に携わっており、その技術を応用し 2000 年以降は腹腔鏡下大腸、直腸切除術、胃切除術を手掛けるようになりました。
(経験症例数：早期胃癌、胃粘膜下腫瘍 50 例以上、大腸・直腸 200 例以上、胆嚢、総胆管 500 例以上)

特に多くの大腸癌手術は進行癌を含めて腹腔鏡下手術のメリットは大きく、かつ根治性も損なわない術式として認識されてきています。

参照：下図：日本内視鏡外科学会内視鏡外科手術に関するアンケート調査

第 9 回集計結果

<http://medical.nikkeibp.co.jp/leaf/mem/doctors/series/alan/201003/514633.html>

<http://www.asas.or.jp/jses/>

<http://www.nikkeibp.co.jp/archives/418/418821.html>

笛吹中央病院を勤務先に選んだのは、①当院が上尾中央医科グループで本部である上尾中央総合病院は全国有数の腹腔鏡手術を行っており連携がとれること②当院には、昨年度に日本内視鏡外科技術認定医の資格をもつ西山徹先生が就任、腹腔鏡下ヘルニア根治術(山梨日日新聞に掲載)を積極的に行い近隣の病院から数多くのお客様のご紹介を頂くようになってきていることが大きな理由です。加えて、私が就任することによって本年度から当院には 2 名の日本内視鏡外科技術認定医が在籍することとなりました。

もちろん、安全性第一を前提に致しますので、すべての胃癌、大腸癌等の患者様が腹腔鏡手術の適応となるわけではありませんが、手術の 1 つのオプションとして腹腔鏡化手術が加わることによって少しでも笛吹市周辺地域の患者様が早期に社会復帰できるよう尽力していきたいと考えています。

【資格等】

医学博士

日本外科学会専門医・指導医

日本消化器外科学会専門医

日本内視鏡外科学会技術認定医

日本消化器内視鏡学会専門医

日本がん治療認定医機構 がん認定医

図2 腹部外科領域の疾患別総症例数の推移

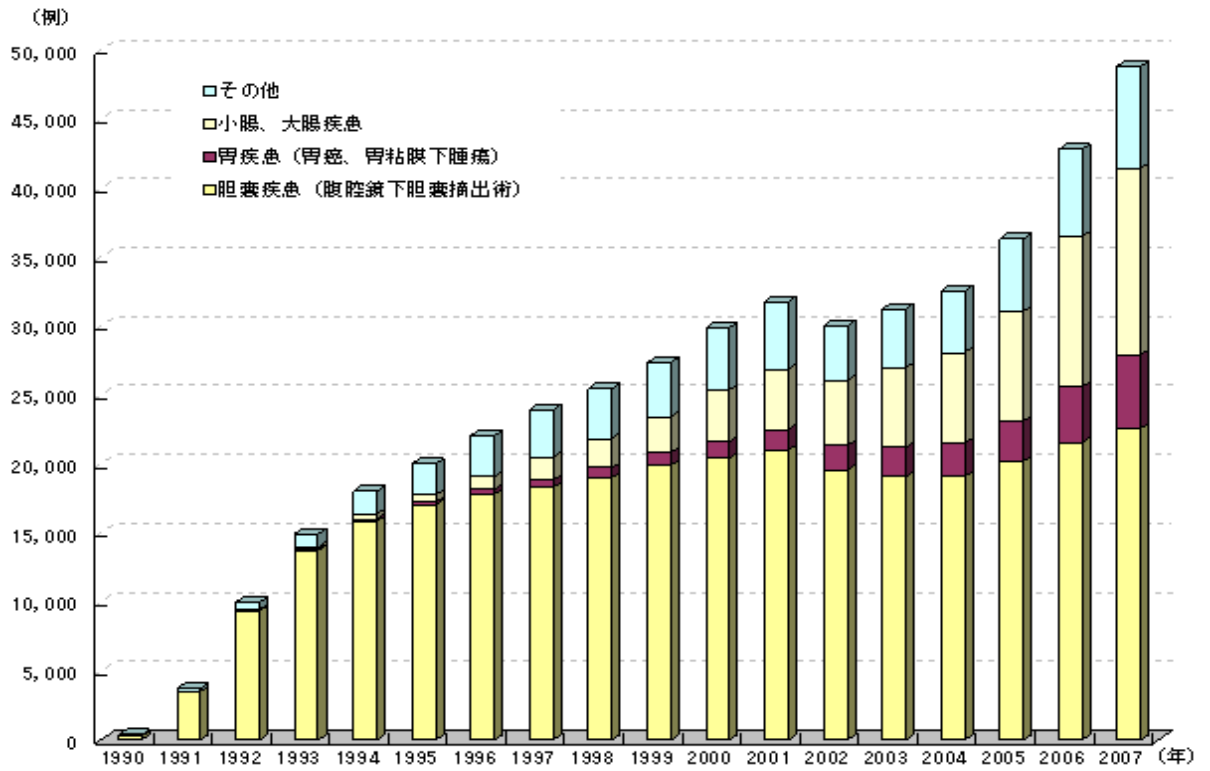


図18 小腸、大腸疾患【悪性疾患】

